土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川　江の川水系　宮奥谷川　測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

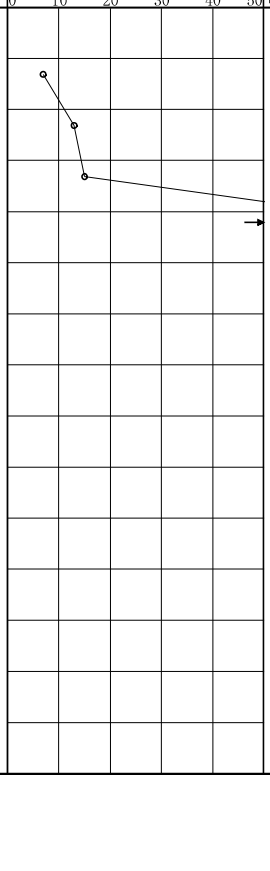
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor-No. 1	**調査位置**	広島県庄原市比和町森脇地内			**北緯**	35° 00′ 28.1994″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年 5月 20日 ～ 2022年 5月 24日	**東経**	132° 59′ 32.2630″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 494.23m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90° 36°
総削孔長	7.00m	**使用機種**	試錐機：東邦D0	**エンジン**	ヤンマーNF-10	**ポンプ**	東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	493.43	0.80		粘土質砂		暗褐	rd1		新生代第四紀	有機質な表土。細砂を主体とし，全体に粘土分を含有。 粗砂～φ10mm前後の礫が少量混じる。 0.7m付近，木根あり。	
	490.23	4.00		強風化流紋岩		灰褐			中生代白亜紀	DL級，砂質土相当。 岩組織明瞭であるが風化著しい。 コアは柱状で採取されるが指圧で容易に崩せる。 所々，礫状を呈し割れ目構造を残す。	
	489.73	4.50		強風化流紋岩		淡褐灰				DH級，軟岩I相当。 角礫状～岩片状コア。	
	489.03	5.20		風化流紋岩						CL級，軟岩I相当。短柱状コア主体。 低角度の割れ目沿いに褐色を帯びる。 岩質は比較的硬質。	
	488.43	5.80		強風化流紋岩						DH級，軟岩I相当。岩片状～短柱状コア主体。 割れ目沿いに軟質化著しい。 5.60～5.80m間，土砂状を呈する。	
	487.23	7.00		風化流紋岩		褐灰				CM級，軟岩II相当。柱状コア主体。 割れ目沿いは褐色を帯びる。岩質は比較的硬質。 6.65m付近，角礫状コア。	

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	1	3	3	7/300		
	1.45						
13	2.15	4	4	5	13/300		
	2.45						
15	3.15	3	5	7	15/300		
	3.45						
79	4.10	21	29/90		50/190	190	
	4.29						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					5/20
					5/21